

公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時：2019年9月12日（木曜日） 11時30分～12時30分

場所：熊本大学黒髪キャンパス 工学部2号館2F（熊本市中央区黒髪2-39-1）

出席代議員：青木、大朝、大向、奥村、半田、草野、小久保、柴田、須藤、林、寺田（馬場）（zoom参加）、鈴木、谷本、犬塚、野村、土居、北山、縣、横山、大内、梅村、一本、鶴、長田、郷田（以上25名、委任状12名）

欠席代議員：相川、岡村、河合、田村、常田、戸谷、望月、渡部、深川、榎戸、松下、坪井、井岡、百瀬、河野（以上15名）

伊王野庶務理事、鹿野・早野会計理事、佐藤事務長、田口谷事務長補佐、洞口日本天文遺産委員会委員長、酒井年会理事が出席した。梅村会長、馬場副会長、鈴木庶務理事は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が25名、議長委任状が12件、合計37件で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。前回代議員総会（2019年6月8日）の議事録が確認された。

また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：梅村雅之

署名人：梅村雅之

II. 議題

II-1. 名誉会員の定款の変更（資料3、鈴木）

名誉会員の定款の変更案が提示された。「2. 名誉会員は正会員とする」という表現は誤解を与える可能性があるため、最終的な文言は理事会に一任することとし、賛成多数で承認された。

II-2. 「内地留学奨学金」の名称変更（資料3、鈴木）

「内地留学」という名称が現状に即さなくなっているため、変更することが委員会から提案された。複数の案を理事会で議論した結果、本奨学金の名称を「国内研修支援金」に変更することが提案された。名称変更に伴う細則の改定も含め、賛成多数で承認された。

II-3. 日本天文遺産選考委員会からの提案（資料4、洞口）

本年度（第2回日本天文遺産）の認定に向けての準備を開始したことが報告された。また、本制度の目的、設立までの経緯、認定までの流れ等の情報共有がされた。情報公開のタイミングについての議論がされた。

II-4. その他

「安全保障と天文学」について継続して議論することが提案された。次回の代議員総会で本件を議論する予定である。

III. 報告

III-1. 理事会（2019年9月11日）の報告（鈴木）

2019年9月11日に開催された日本天文学会理事会の報告がされた。

III-2. 会員からの「用語委員会」の設置提案に対する理事会としての対応について（鈴木）

会員から「用語委員会」を設置する旨の提案があったが、書類不備のため本提案書について審議しないことを実務理事会で決定したことが報告された。

III-3. 学術会議 天文学・宇宙物理学分科会、IAU 分科会報告（奥村）

マスタープラン 2020 の重点大型研究計画の選定に関わるヒアリングの実施が決定した。安全保障に関して継続して議論している。連携会員の改選が予定されており、候補者リストの作成の際に天文学会に協力を求める予定である。博士号取得者のキャリアパス調査の速報が報告された。IAU 分科会においては、100 周年記念事業、IAU2020-2030 戦略計画の日本語版の完成、今後のシンポジウムの予定が報告された。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠席表

資料 2 前回(2019 年 6 月 8 日)代議員総会議事録（案）

資料 3 「名誉会員」の定款の変更について、「内地留学奨学金」の名称変更について

資料 3-2 （参考）内地留学奨学金の名称変更の提案（2019 年 5 月 18 日の理事会での資料）

資料 4 第 2 回（2019 年度）日本天文遺産認定に向けて

2019 年 9 月 12 日

議長・署名人：梅 村 雅 之 印